

ウルトラ建設探訪記

vol.08

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第14話「ウルトラ警備隊西へ 前編」



「ウルトラセブン」55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の**未来**

BCS賞を2度受賞した国立会議施設

「国立京都国際会館」は、京都市にある国際会議場。日本初の国立の会議施設として1966年に開設された。設計したのは昭和を代表する建築家、大谷幸夫氏。日本の伝統建築・合掌造りに現代建築を融合させたような外観と2000人を収容できる大ホールが特徴で、本館は1967年、更にイベントホールは1988年にもBCS賞を受賞した。その他「公共建築百選」や「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」にも選ばれるなど、高く評価されている。1997年に「京都議定書」が採択された「COP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）」が開催されたのもこの会議場である。



セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第14話「ウルトラ警備隊西へ 前編」では、地球防衛軍が送り込んだ観測ロケットを侵略と誤解したペダン星人が報復のために飛来し、地球が脅威に晒される。特にペダン星人が操るスーパーロボット・キングジョーにはウルトラセブンのあらゆる攻撃が通じず、ウルトラ警備隊とセブンに危機が迫る。「観測行為が攻撃と勘違いされる」という、宇宙人=未知の存在との“共生”の難しさを描くこのエピソードでは、その誤解から地球にかつてない危険が訪れ、後編へと続くストーリーとなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>